

# 学校・家庭・地域・市が連携し、 一人残らずすべての児童生徒に学力を保証する施策の実現

## — 久喜市本気・本樹の学力向上プロジェクト —



- 教委名 久喜市教育委員会
- 所在地 久喜市下清久500-1
- TEL 0480-22-5555
- E-mail shido@city.kuki.lg.jp
- URL <http://www.city.kuki.lg.jp/>

### 1 研究主題

#### (1) 研究主題

学校・家庭・地域・市が連携し、一人残らずすべての児童生徒に学力を保証する施策の実現

—久喜市本気・本樹の学力向上プロジェクト—

#### (2) 研究主題設定の理由

我が国を取り巻く社会の状況を鑑みたとき、明るい未来を切り拓いていくためには、児童生徒の学力向上は喫緊の課題である。一方で、学校が負う期待と責務は年々増加し、教育に対する課題を確実に解決していくには非常に厳しい状況である。また、少子超高齢社会を迎え、人口減少及び労働人口減少が進んでいく中で、未来を担う子どもたちは我が国の宝である。一人残らずすべての児童生徒に学力を保証することは、公教育の責務である。しかしながら、本市においては、埼玉県学力・学習状況調査や全国学力・学習状況調査を一つの指標としてみたときに、全体的には伸びが見られるものの、個に目を向ければ、学力を保証できているとは言い難い現状がある。また、さらなる伸びを目指す取組を提供する必要もある。これらのことから、市内全児童生徒の「学力の現在地」を追跡しながら、学校を支援するだけでなく、教育委員会が主体となり、学校・家庭・地域・市が連携した学力向上策を展開することが有効であろうと考え、本研究主題を設定した。

### 2 研究の実践

#### (1) 久喜市本気・本樹の学力向上プロジェクト

4つの施策を関連付けてパッケージし、学校・家庭・地域・市が連携して学力向上に取り組むプロジェクトである。

【資料1-1 グランドデザイン】

【資料1-2 施策イメージ】



ア プロジェクトを構成する4つの施策

- ①児童生徒の学力の現在地の把握
  - 久喜市ステップアップテスト（KST）毎月実施
- ②主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
  - 久喜市学力向上推進研究委員会、学校訪問、校内研修支援
- ③自ら学ぶ家庭学習の推進
  - 久喜市版「家庭学習の手引き」、KSTと連動した個別の復習シート
- ④個に寄り添う補習学習の推進
  - 地域人材が講師となる無料の学習塾「くき本樹塾」

イ 4つの施策の中心となる「久喜市ステップアップテスト」

- ① 調査の目的
  - ・児童生徒の「学力の現在地」を継続的に把握する。
  - ・教職員に毎月全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の問題に触れる機会を提供し、授業改善に役立てる。
  - ・各学級の「学力の現在地」及び「学力の伸び」を把握し、上位3学級を紹介することで、教職員の意欲喚起を図るとともに、優れた取組を紹介することで学級の取組改善に役立てる。
  - ・一人一人の正答状況に合わせた補習問題を家庭及び「くき本樹塾」に提供することで、個に応じた学習支援を家庭・地域で行えるようにする。
- ② 調査の対象
  - ・小学4年生～中学3年生
- ③ 実施の方法
  - ・平成30年度は5・6・7・9・10・11・12・1～2月の全8回
  - ・小学校は国語と算数、中学校は国語と数学と英語
  - ・各教科9問15分で実施
  - ・最終1問の記述式問題のみ学校で採点（全国学調のB問中心に出題）
  - ・返却される個票には、学力の現在地、これまでの学力の現在地の推移、個人・学級・参加校の正答状況と学力の伸び、個の課題に合わせた補習問題コードを記載【資料2 返却される個票】
  - ・得点率分野・学力の伸び分野第3位までの学級を紹介

【資料2-1 KST結果個票（表）】

【資料2-1 KST結果個票（裏）】

The image displays two pages of the KST (Kusaki Step-Up Test) result sheets. The left page, titled '久喜市ステップアップテスト (KST) 12月', shows the front side of the sheet for '国語' (Japanese) and '算数' (Math). It includes a grid for recording scores across different subjects and grades, along with a small bar chart showing progress. The right page, titled '結果の見える方', provides a detailed analysis of the results. It includes a '結果の見える方' (Results Overview) section with a bar chart showing scores across subjects and grades. Below this, there is a section for '学力の現在地をつつもの！' (Understanding the current state of learning!) and another section for '各学級ごとの取組に励みください' (Please encourage the activities of each class). The bottom right corner features a QR code and contact information for the Kusaki Education Research Committee.

ウ 授業改善に向けて

① 久喜市学力向上推進研究委員会

市が委嘱した15名の教員による研究委員会を設置し、単元構想シートによる授業計画と実践、検証を行っている。

② KSTの活用

KSTの問題は、コバトン問題集と全国学力・学習状況調査の問題を中心に作成している。コバトン問題集自体が全国学力・学習状況調査の問題に埼玉県学力・学習状況調査の問題の難易度表示を添付したものであるから、つまりKSTは、育むべき力を毎月各校教員に示していることになる。このKSTの問題を各校の教員が1問採点する機会を提供することで、どのような資質・能力を育む必要があるのかを自ずと把握でき、授業改善に役立てることができる。

また、KSTは、一人一人の学力の伸びが把握できる埼玉県学力・学習状況調査の仕組みを取り入れているため、その結果を分析、検証することで、各学校、各学級、各児童生徒の課題を明らかにし、より実態に即した授業を企画することができる。

さらに、このテストを教育委員会で取りまとめていることから、各学校の学力の実態をより正確に捉えることができ、実態に合わせた学校訪問や校内研修の支援ができる。

エ 家庭学習の充実にに向けて

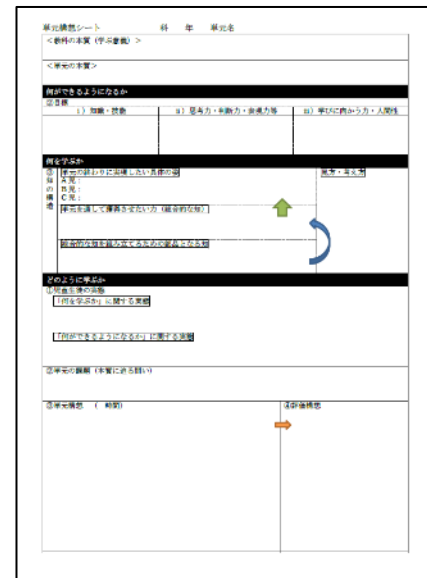
① 久喜市版「家庭学習の手引き」の提供

発達段階別に作成した久喜市版「家庭学習の手引き」を各学校へデータで提供することで、各学校の実態に合わせて改変を加えながら配布できるようにしている。また、KSTサイトの紹介や活用方法についても記載し、家庭学習との連携を促進している。

【資料4 久喜市版「家庭学習の手引き」(抜粋)】

The image displays three panels of the 'Family Learning Guide' (家庭学習の手引き) for elementary school students. The left panel shows the cover with the title '家庭学習の手引き (案) 久喜市' and icons for '1読' (1 reading), '10笑' (10 laughs), '100吸' (100 breaths), and '1万歩' (10,000 steps). It includes a QR code and a form for the student's name and school. The middle panel is titled '「KST」をご存知ですか?' and explains the '久喜市ステップアップテスト (KST)'. It states that the test is implemented monthly and is designed to be used by teachers to assess student learning progress. The right panel is for '中学校1~3年生' (Middle school 1-3 years) and lists activities for '国語' (Language) and '社会' (Social Studies). The '国語' section includes activities like reading and writing, while the '社会' section includes activities like using a notebook and participating in clubs.

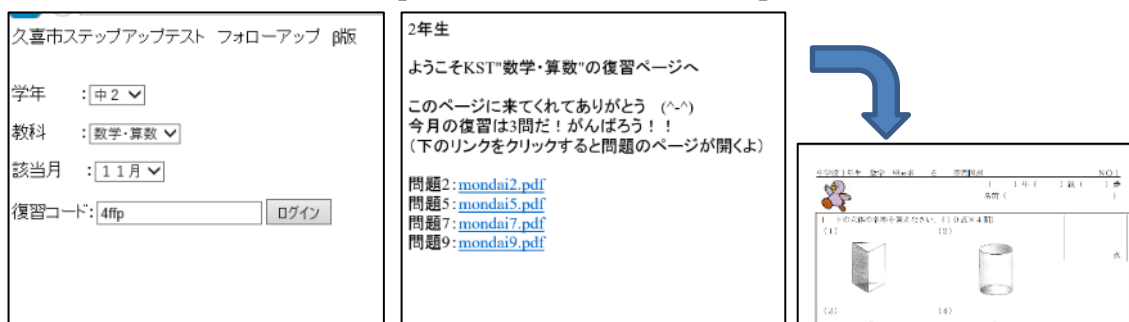
【資料3 単元構想シート】



## ② K S Tの結果個票の提供

K S Tの結果を受けて、学力の現在地、これまでの学力の現在地の推移、個人・学級・参加校の正答状況と学力の伸び、個の課題に合わせた補習問題コードを記載した個票を各家庭に配布している。この個票にはQRコードが添付されており、web上のK S Tサイトから自動で編集された各児童生徒に合わせた復習問題がダウンロードできるようにしている。

### 【資料5 K S Tサイト】



The image shows a screenshot of the KST website. On the left is a login form with fields for '学年' (Year) set to '中2', '教科' (Subject) set to '数学・算数', '該当月' (Month) set to '11月', and '復習コード' (Revision Code) set to '4fp'. A 'ログイン' (Login) button is present. On the right is a page for '2年生' (2nd year) with a welcome message and a list of practice problems: '問題2:mondai2.pdf', '問題5:mondai5.pdf', '問題7:mondai7.pdf', and '問題9:mondai9.pdf'. A blue arrow points from the text 'このページに来てくれてありがとう' to a screenshot of a problem page on the right, which shows a math problem involving a cylinder.

## オ 地域人材が講師となる無料の学習塾「くき本樹塾」

市が委嘱した地域人材を講師とする毎週1回2時間の無料放課後学習塾「くき本樹塾」を全中学校に設置した。この「くき本樹塾」にK S Tの補習問題コード一覧を提供することで、家庭での補習に加えて地域でも個に応じた学習支援ができるようにしている。

### 【資料6 くき本樹塾 活動の様子】



## 3 研究の成果と課題

### (1) 成果

埼玉県学力・学習状況調査結果及び全国学力・学習状況調査結果から、学力を伸ばした児童生徒の割合、平均学力レベルが向上しただけでなく、無回答率の減少、記述式問題の正答率の向上が見られ、市全体の学力が向上していることは明らかである。これらは、学校・家庭・地域の努力の賜物であるが、市の取組もその一助となっていると確信している。

### (2) 課題

K S Tサイトのアクセス数が伸びないことと、担当が変わっても継続できる仕組みにパッケージすることが課題である。これらの課題解決のために、K S Tサイトのバージョンアップとアプリケーション化を現在進めている。